



1

〈会話文の見つけ方〉

①会話に入る直前の言い方を探す。

(例) 「○○」が(言ふやう)

「○○」が(申すやう)

「○○いはく」

②会話の終わりを示す言い方を探す。

(例) 「〜と」(言ふ・答ふ・問ふ・尋ぬ・申す)「

〜とて」

2

1 会話の終わりを示す言い方の「〜と」に着目する。

2 「ある翁」の答えは「人をみるには〜あしきと心得たまへ」である。

この内容をもとに考える。

3

3 主語なので、「何があるのか」「だれが見たのか」「だれが座っていたのか」ということを考えればよい。

4

2 古文では、動詞を二つ重ねるのは、それに熱中する様子を表すときに使う。

3 「映る」とは、水面や鏡などを明るく照らすこと。

4 「さやうなるをり」は、「そのようなとき」という意味。

指示語の内容は直前にあることが多い。